

■ 事業のセールスポイント

・自動運転技術の導入と新たな交通・交流拠点の創出により、リニア岐阜県駅が出来るメリットと高速道路も含めた広域交通の整備効果を、中心部から離れた地域にも波及させるとともに、地域の拠点性の向上を図る。※本事業では1地域(付知町地区)をモデルに検討。
 ⇒実装により、住民の生活利便性維持、観光客等の地域内への誘導、事業者の受け入れ促進に寄与する。

位置図



■ 関連事業全体の概要

中津川市の付知町地区をモデルとして、

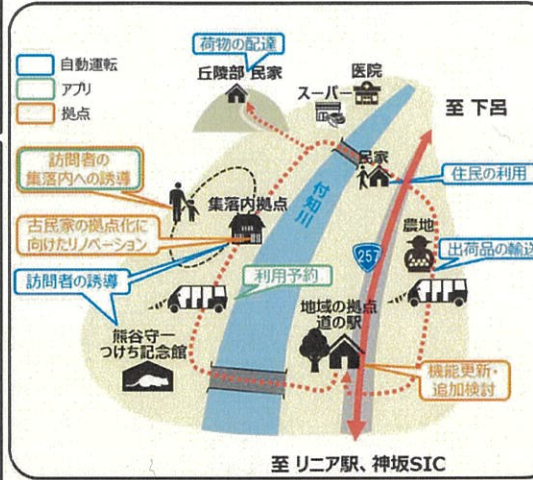
- ①自動運転技術の導入・運営
 - ②自動運転予約アプリ開発
 - ③拠点創出・運営
- の検討、実装を行う。

■ 対象区域の概要

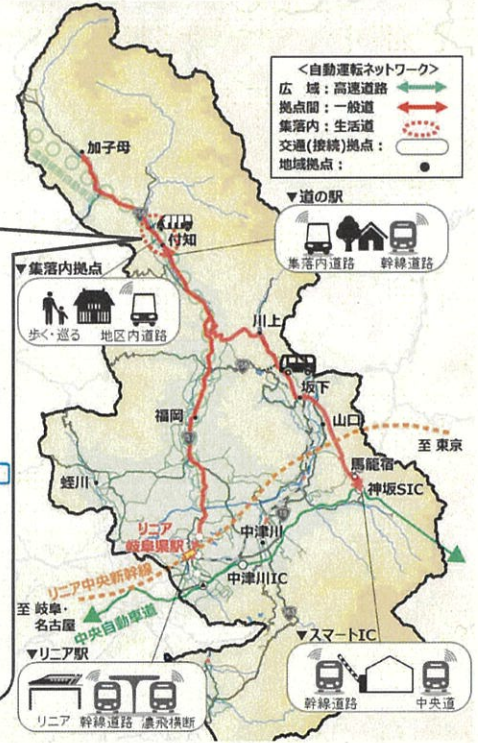
中津川市
 面積:676km²(73km²)
 人口:7.9万人(0.6万人)
 ※()は、本事業でモデルとして検討する付知町地区

■ 対象区域のビジョン

- ①リニア等広域交通の整備効果を市内全域へ波及
- ②多拠点ネットワークによる集約型都市構造



▲付知町地区での技術実装イメージ



▲将来的な自動運転ネットワークイメージ (付知町地区を対象とした場合)

事業概要

提案タイトル 超高速交通網との接続にむけた自動運転ネットワークの導入と地域拠点整備による新たな人の流れ創出事業

提案者	活用技術
岐阜県中津川市	自動運転、VR/AR

■ 背景・課題

- 目指す将来像** ・自動運転技術と新たな拠点の創出により、「リニア等広域交通の整備効果を市内全域へ波及」と「多拠点ネットワークによる集約型都市構造」の実現。
- 解決すべき課題** ①人口減少と高齢化の進展する中山間地域での持続的発展、②各拠点の魅力向上に向けた取り組み、③交通インフラの整備効果の最大化、

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業:自動運転技術の導入・運営

活用技術	事業概要
自動運転	・人だけでなく農産物の出荷や生活品の配達など貨物も合わせた効率的な運行。 ・既存公共交通との連携、代替としての活用検討。

○事業:自動運転予約アプリの開発

活用技術	事業概要
VR/AR	・自動運転サービスを予約するだけでなく、収集・可視化した地域の歴史や資源等をアプリ上で表示し、訪問者等を集落内へ誘導。

○事業:拠点の創出・運営

活用技術	事業概要
VR/AR	・オンライン拠点として、地域史料、地形や拠点候補地の可視化(一部3Dモデル化)により、情報発信。 ・古民家リノベーションにより拠点を創出し、住民、訪問者の双方を誘導。一部は、シェアオフィス等へ活用。



図 モデルとする付知町地区での技術実装イメージ図